

鹿児島県感染症情報

2010年第52週報 (12月27日~2011年1月2日)

発行：鹿児島県環境保健センター

《感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>》

今週の報告数は前週より減少しているものの、県内には感染性胃腸炎の流行発生警報が発令中です。今後の動向に注意して手洗い等の予防対策に努めましょう。

★ 県内の感染性胃腸炎の発生動向と予防対策について

今週の感染性胃腸炎の報告数は、前週 (1,152人) より340人少ない812人 (定点当たり報告数14.76) に減少していますが、県内には引き続き流行発生警報が発令中です。例年の同時期報告数では、この時期は定点医療機関の冬季休暇の影響で報告数が減少する傾向にあります。今後しばらくは動向に注意して予防対策に努めてください。当センターが実施している病原体サーベイランスでは、ノロウイルスの検出率が高くなっています。感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と患者の吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要です。

県内におけるインフルエンザは、今週も増加が認められ、定点当たり報告数でも3.00を超えてきました。感染しない・させないためにも手洗い・咳エチケット等の予防対策に努めましょう。

★ 県内のインフルエンザの発生動向と予防対策について

今週のインフルエンザの報告数は、前週 (264人) より18人多い282人 (定点当たり報告数3.03) に増加しました。来週にはほとんどの学校が再開され、集団生活が始まります。流行に備え、ワクチン接種をしていない人は早めに接種を受け、また、個人も出来る手洗い・咳エチケット等の予防対策に努めましょう。

今週は、感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症として、鳥類からの鳥インフルエンザ (H5N1) が6例報告されました。鳥インフルエンザウイルスは、野鳥観察など通常の接し方では、ヒトには感染しないと考えられていますので、冷静な行動をお願いします。

★ 野鳥と接する際は、糞が感染源となり得る可能性が高いので、下記の点に注意しましょう

1. 死亡した野鳥など野生動物は、素手で触らないでください。また、同じ場所でたくさんの野鳥が死亡していたら、お近くの市町村役場あるいは最寄りの地域振興局にご連絡ください。
2. 日常生活において、野鳥など野生動物の排泄物に触れた後には、手洗い・うがいを励行してください。過度に心配する必要はありません。
3. 野鳥の糞が靴の裏や車両に付着することにより、ウイルスが他の地域へ運ばれる可能性があるため、野鳥には近づきすぎないようにしてください。靴で糞を踏まないよう十分注意し、必要に応じ消毒を行ってください。
4. 不必要に野鳥を追い立てたり、つかまえようとするのは避けてください。

☆一～五類感染症(全数報告疾病)および獣医師が届出を行う動物感染症の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核 1例 (肺結核1例)
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	つつが虫病 3例, (追加) 第51週: つつが虫病1例, (削除) 第51週: つつが虫病1例
五類感染症	アメーバ赤痢 1例, 急性脳炎 1例, (追加) 第50週: 急性脳炎 1例
動物感染症	鳥インフルエンザ (H5N1) 6例

☆定点報告疾病の発生状況

- ・第52週の定点把握対象疾病の総報告数は1,628人で、第51週より424人少なかった (詳細については後述)。
- ・**流行発生警報**の基準値 (開始基準値及び終息基準値) 以上の保健所 (数値) は定点当たり報告数、アンダーラインは今週から基準値以上の保健所
 - 【感染性胃腸炎 (開始20.0, 終息12.0)】: 川薩 (27.25), 鹿屋 (26.60), 始良 (21.86), 伊集院 (15.25), 鹿児島市 (15.08), 志布志 (14.33)
 - 【水痘 (開始7.0, 終息4.0)】: 出水 (8.67), 【流行性耳下腺炎 (開始6.0, 終息2.0)】: 鹿児島市 (5.15), 大口 (4.00), 伊集院 (2.50)
 - 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (開始8.0, 終息4.0)】: 川薩 (14.75), 【伝染性紅斑 (開始2.0, 終息1.0)】: 鹿児島市 (1.38)
 - 【咽頭結膜熱 (開始3.0, 終息1.0)】: 鹿屋 (2.80)
- ・**流行発生注意報**の基準値以上の保健所 【水痘 (基準値4.0)】: 川薩 (6.75), 鹿屋 (4.40), 加世田 (4.00)

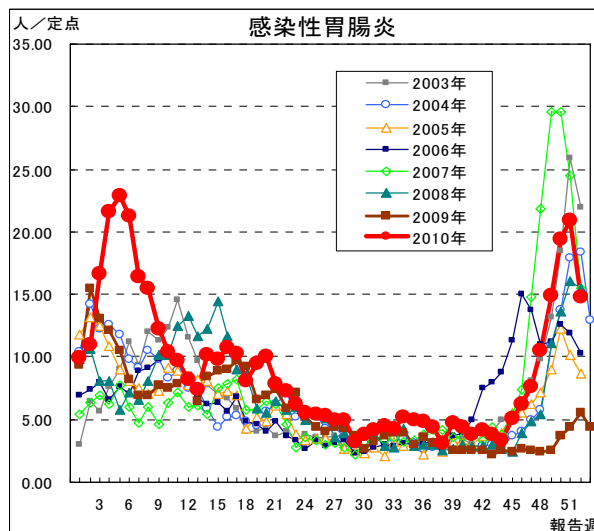
☆ 定点報告疾病(定点当たり報告数の上位3疾病の発生状況)

(1) 感染性胃腸炎

第52週の感染性胃腸炎の報告数は812人で、前週より340人少なく、定点当たりの報告数は14.76であった。今週は減少に転じたものの、例年の同時期も定点医療機関の冬季休暇等の影響で、減少傾向にあることから今後の動向には注意が必要です。

年齢別では、1歳(134人)、20歳以上(124人)、2歳(108人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所(27.25)、鹿屋保健所(26.60)、始良保健所(21.86)が多い。鹿児島市保健所(15.08)は4週連続、鹿屋、始良、志布志(14.33)保健所は3週連続、伊集院(15.25)保健所は2週連続、今週から川薩保健所が流行発生警報の基準値以上である。



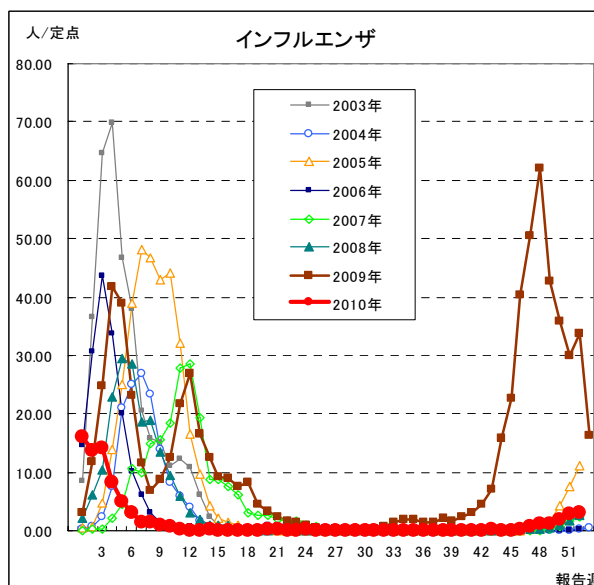
(2) インフルエンザ

第52週のインフルエンザの報告数は282人で、前週より18人多く、定点当たりの報告数は3.03であった。報告数は徐々に増加傾向にあり、今後さらに増加していくことが予想されます。個人で出来る予防対策に努めてください。

当センターが実施している11月以降の病原体サーベイランスでは、10検体の陽性例のうち5例がAH3(香港型)、5例がAH1pdm(新型)となっている。特に、12月以降はAH1pdm(新型)の検出率が高くなってきている。

年齢別では、10～14歳(34人)、20～29歳(30人)、30～39歳(27人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所(8.25)、鹿児島市保健所(4.61)、志布志保健所(4.60)が多い。

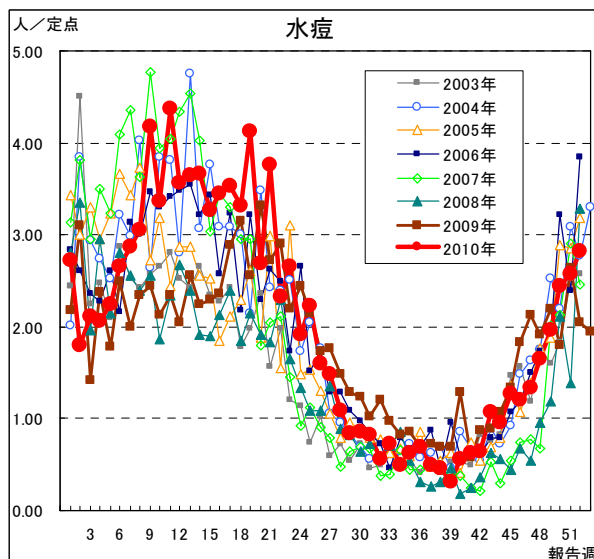


(3) 水痘

第52週の水痘の報告数は155人で、前週より13人多く、定点当たりの報告数は2.82であった。例年と同様に増加傾向が続いているため、今後の動向には注意が必要です。

年齢別では、1歳と2歳(それぞれ32人)、3歳(30人)の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、出水保健所(8.67)、川薩保健所(6.75)、鹿屋保健所(4.40)が多い。今週から出水保健所は流行発生警報の基準値以上である。また、川薩保健所、鹿屋保健所、加世田保健所(4.00)は今週から流行発生注意報の基準値以上である。



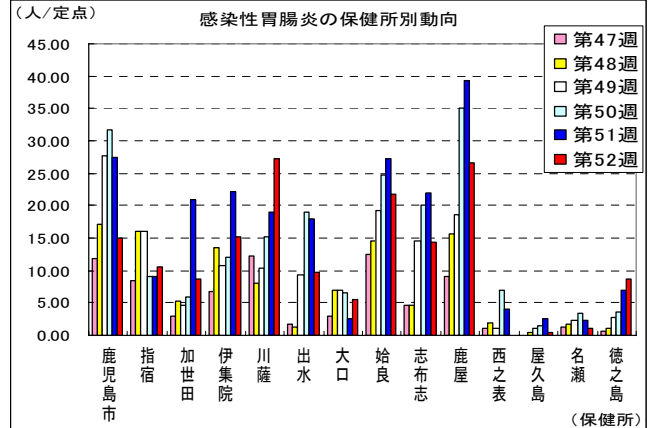
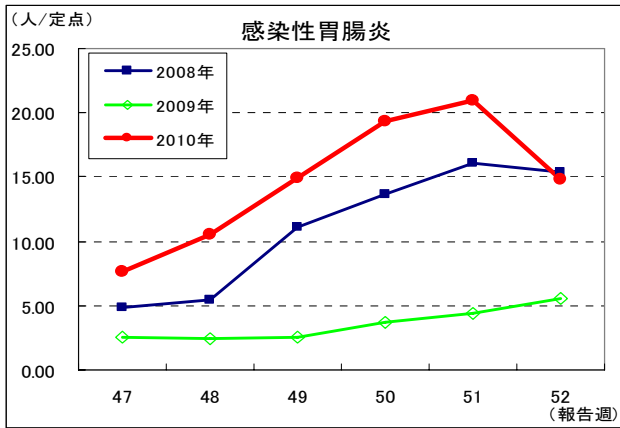
☆ 鹿児島県感染症発生動向調査企画委員会の提言における県内の小児細菌性髄膜炎の把握状況

患者報告数：第51週 1例(4歳)、第52週 1例(11ヶ月)

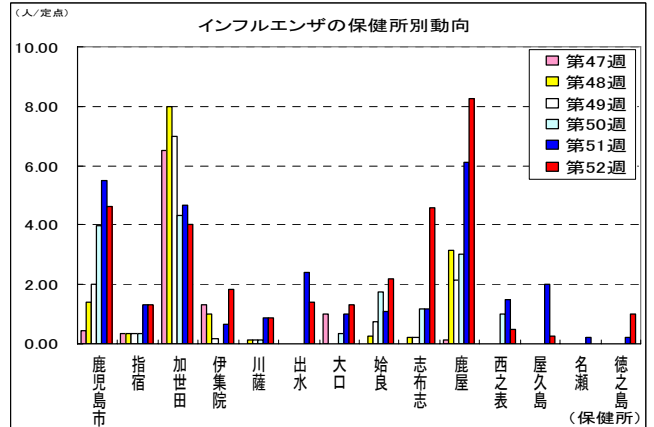
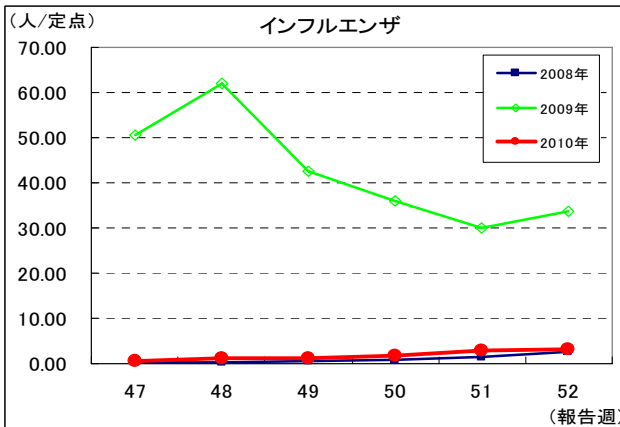
≪2010年累計患者報告数：9例≫ 【鹿児島県小児科医MLによる】

☆上位3疾病の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

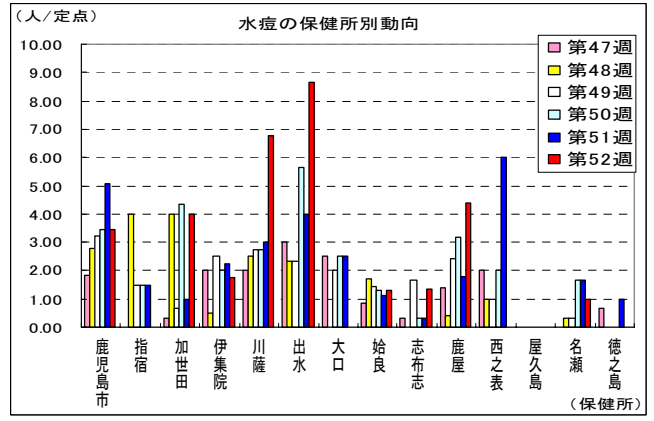
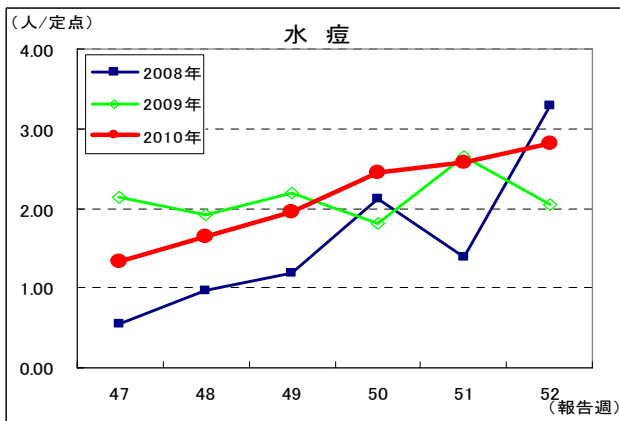
(1) 感染性胃腸炎 (流行発生警報は開始基準値 20.0 以上)



(2) インフルエンザ (流行発生警報は開始基準値 30.0 以上)

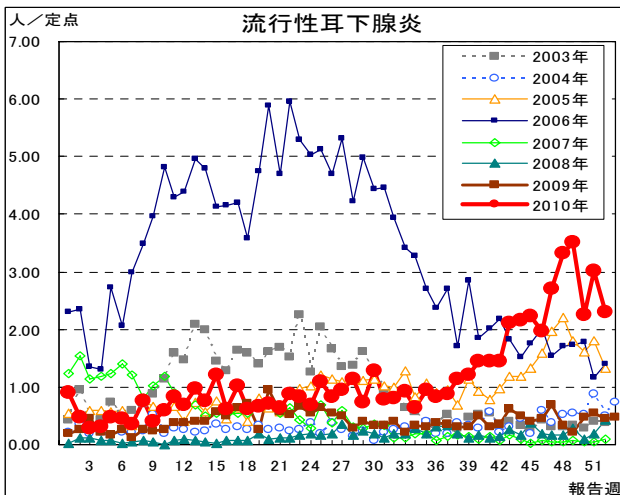


(3) 水痘 (流行発生警報は開始基準値 7.0 以上)

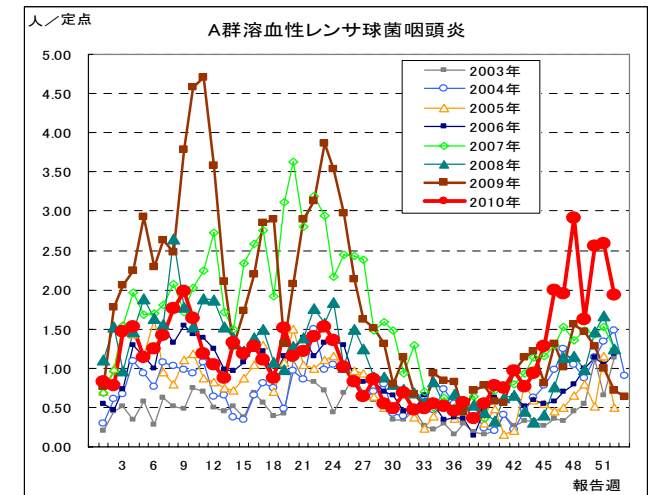


☆注目される感染症の発生状況

★流行性耳下腺炎の発生状況 (鹿児島県)



★A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況 (鹿児島県)



☆定点報告疾病の発生状況

2010年	(報告週)	第52週
-------	-------	------

定点種別	定点報告疾病	報告数	定点当り	累積報告数 (2010年)	
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	○ インフルエンザ	282	3.03	7,260	
	RSウイルス感染症	36	0.65	2,068	
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	49	0.89	1,181	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	106	1.93	3,341	
	感染性胃腸炎	812	14.76	25,606	
	○ 水痘	155	2.82	5,815	
	○ 手足口病	3	0.05	2,759	
	伝染性紅斑	30	0.55	950	
	突発性発しん	17	0.31	1,542	
	百日咳	1	0.02	43	
	ヘルパンギーナ	2	0.04	2,079	
	流行性耳下腺炎	126	2.29	3,315	
	眼科定点	急性出血性結膜炎	-	0.00	3
		流行性角結膜炎	4	0.57	364
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	0.00	4	
	無菌性髄膜炎	-	0.00	6	
	マイコプラズマ肺炎	5	0.42	81	
	クラミジア肺炎	-	0.00	3	
報告数合計		1,628		56,420	

○印は前週比増

☆5週間前からの疾病別報告数・定点当たり報告数

	5週前 (2010年47週)	4週前 (2010年48週)	3週前 (2010年49週)	2週前 (2010年50週)	1週前 (2010年51週)	今週 (2010年52週)
インフルエンザ	62 0.67	117 1.26	117 1.26	171 1.84	264 2.84	282 3.03
RSウイルス感染症	18 0.33	48 0.87	43 0.78	41 0.75	44 0.80	36 0.65
咽頭結膜熱	27 0.49	28 0.51	51 0.93	52 0.95	45 0.82	49 0.89
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	107 1.95	160 2.91	89 1.62	140 2.55	142 2.58	106 1.93
感染性胃腸炎	421 7.65	579 10.53	820 14.91	1065 19.36	1152 20.95	812 14.76
水痘	73 1.33	91 1.65	108 1.96	135 2.45	142 2.58	155 2.82
手足口病	6 0.11	4 0.07	1 0.02	2 0.04	-	3 0.05
伝染性紅斑	32 0.58	48 0.87	47 0.85	59 1.07	57 1.04	30 0.55
突発性発しん	27 0.49	30 0.55	32 0.58	31 0.56	25 0.45	17 0.31
百日咳	2 0.04	-	1 0.02	-	1 0.02	1 0.02
ヘルパンギーナ	3 0.05	5 0.09	1 0.02	2 0.04	3 0.05	2 0.04
流行性耳下腺炎	149 2.71	183 3.33	193 3.51	124 2.25	166 3.02	126 2.29
急性出血性結膜炎	1 0.14	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7 1.00	4 0.57	3 0.43	7 1.00	6 0.86	4 0.57
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2 0.17	2 0.17	4 0.33	6 0.50	5 0.42	5 0.42
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	1 0.08	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2010年52週(平成22年12月27日～平成23年1月2日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	282	3.03	36	0.65	49	0.89	106	1.93	812	14.76	155	2.82	3	0.05	30	0.55	17	0.31
鹿児島市	106	4.61	12	0.92	19	1.46	34	2.62	196	15.08	45	3.46	-	-	18	1.38	7	0.54
指宿	4	1.33	-	-	-	-	-	-	21	10.50	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	24	4.00	-	-	1	0.33	-	-	26	8.67	12	4.00	1	0.33	3	1.00	-	-
伊集院	11	1.83	4	1.00	8	2.00	-	-	61	15.25	7	1.75	-	-	1	0.25	-	-
川薩	6	0.86	-	-	2	0.50	59	14.75	109	27.25	27	6.75	-	-	5	1.25	4	1.00
出水	7	1.40	7	2.33	-	-	10	3.33	29	9.67	26	8.67	-	-	-	-	-	-
大口	4	1.33	2	1.00	-	-	-	-	11	5.50	-	-	-	-	1	0.50	-	-
始良	24	2.18	3	0.43	4	0.57	3	0.43	153	21.86	9	1.29	1	0.14	1	0.14	4	0.57
志布志	23	4.60	-	-	-	-	-	-	43	14.33	4	1.33	1	0.33	-	-	-	-
鹿屋	66	8.25	2	0.40	14	2.80	-	-	133	26.60	22	4.40	-	-	1	0.20	2	0.40
西之表	1	0.50	6	6.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	1	0.25	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.00	3	1.00	-	-	-	-	-	-
徳之島	5	1.00	-	-	-	-	-	-	26	8.67	-	-	-	-	-	-	-	-

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1	0.02	2	0.04	126	2.29	0	0.00	4	0.57	0	0.00	0	0.00	5	0.42	0	0.00
鹿児島市	-	-	2	0.15	67	5.15	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	1	0.50	-	-	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	10	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	1	0.25	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	8	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	17	2.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	6	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5.00	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2010年52週(12月27日～01月02日)

(インフルエンザ定点報告疾病)		合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告数	282	2	10	16	14	11	22	19	21	14	10	11	34	13	30	27	7	14	5	-	2
	定点当り	3.03	0.02	0.11	0.17	0.15	0.12	0.24	0.20	0.23	0.15	0.11	0.12	0.37	0.14	0.32	0.29	0.08	0.15	0.05	-	0.02
(小児科定点報告疾病)		合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症	報告数	36	5	9	14	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.65	0.09	0.16	0.25	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数	49	1	2	6	13	4	7	7	3	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.89	0.02	0.04	0.11	0.24	0.07	0.13	0.13	0.05	0.07	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	106	-	-	11	13	18	9	10	8	8	5	4	19	-	1	-	-	-	-	-	-
	定点当り	1.93	-	-	0.20	0.24	0.33	0.16	0.18	0.15	0.15	0.09	0.07	0.35	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告数	812	2	46	134	108	73	73	37	35	36	31	26	63	24	124	-	-	-	-	-	-
	定点当り	14.76	0.04	0.84	2.44	1.96	1.33	1.33	0.67	0.64	0.65	0.56	0.47	1.15	0.44	2.25	-	-	-	-	-	-
水痘	報告数	155	1	8	32	32	30	25	12	5	4	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	2.82	0.02	0.15	0.58	0.58	0.55	0.45	0.22	0.09	0.07	0.05	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	報告数	3	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.05	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告数	30	-	-	-	-	2	5	5	6	1	4	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.55	-	-	-	-	0.04	0.09	0.09	0.11	0.02	0.07	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告数	17	-	9	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.31	-	0.16	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告数	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.04	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告数	126	-	-	4	13	19	23	17	21	11	8	7	2	-	1	-	-	-	-	-	-
	定点当り	2.29	-	-	0.07	0.24	0.35	0.42	0.31	0.38	0.20	0.15	0.13	0.04	-	0.02	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)		合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-
	定点当り	0.57	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	0.14	-	-	-	0.14	-
(基幹定点報告疾病)		合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.42	-	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-